

補助156号線沿道周辺地区重点地区まちづくり計画(案)【概要版】

まちづくりのコンセプト

みどりあふれ、安全・安心で快適な“暮らし続けたい”を叶えるまち

現況と課題

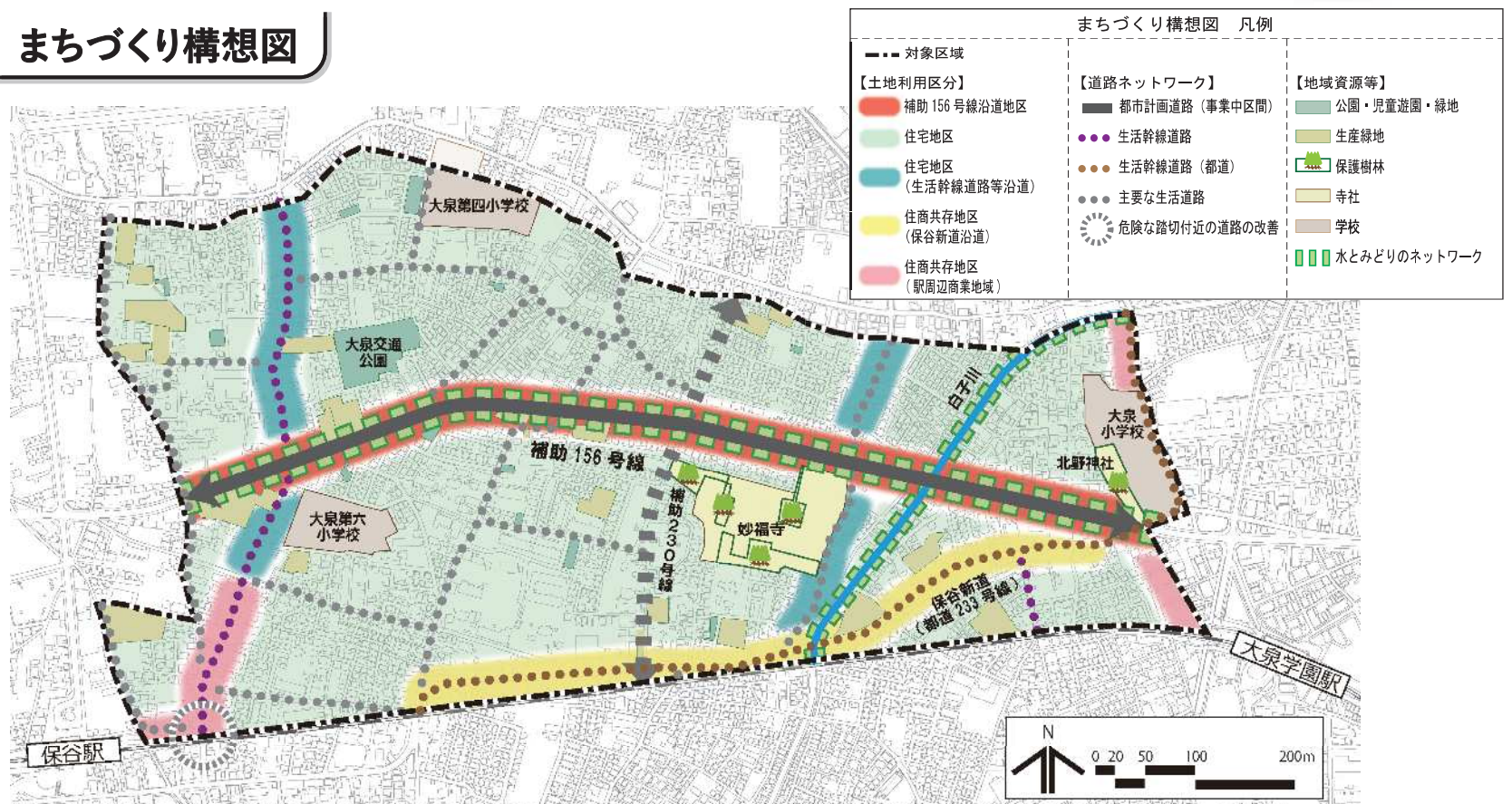
- みどり豊かで良好な住環境が形成されている。
- 東西道路である補助156号線の整備により、利便性の向上が期待される一方、南北方向の円滑な交通の確保が課題である。

目指すまちの姿

- 1. 補助156号線沿道の利便性と周辺環境が調和したまち**
○周辺環境と調和した店舗やサービス施設の立地を誘導する。
- 2. みどり豊かで落ち着いたまち**
○今あるみどりや水辺空間を活かしながら、良好な景観づくりを行う。
- 3. 安全安心で災害に強いまち**
○補助156号線沿道では延焼遮断機能の形成を図る。
○道路環境を改善する。

対象区域面積 約85.6ha
対象区域にある町丁目
東大泉四丁目の一部
西大泉一丁目の一部
南大泉五丁目
南大泉六丁目

まちづくり構想図



まちづくりの方針

土地利用

- **補助156号線沿道地区**
後背住宅地に配慮した中層の住宅と生活利便施設を誘導
- **住宅地区**
みどり豊かでゆとりと落ち着きのある住環境を保全
- **住宅地区(生活幹線道路等沿道)**
中低層住宅と小規模店舗等が立地した街並みを形成
- **住商共存地区(保谷新道沿道)**
中低層住宅と身近な生活を支える店舗等が立地した街並みを形成
- **住商共存地区(駅周辺商業地域)**
中層住宅と商業業務施設が立地した街並みを形成



補助156号線沿道地区のイメージ

道路・交通

- 南北方向を中心とした安全で円滑な交通環境の形成
- 道路ネットワークの充実
- 見通しの悪い交差点に隅切りを確保
- 危険な踏切付近の道路の早期改善に向けた拡幅整備

みどり・景観

- 農地等の保全・活用、敷地内の緑化
- みどり(公園・緑地等)の整備と魅力ある景観づくり



みどり豊かな大泉交通公園

防災

- 補助156号線沿道における延焼遮断機能の形成
- 幅員6mの道路整備を推進
- 敷地の細分化や建て詰まりの防止
- 浸水被害の軽減を図るため、雨水浸透ます等の設置の促進

まちづくりの流れ

